



インターホン応答や家電の制御が、プライベート・ビエラ住宅機器コントローラーモデル(マンションHA連携モデル)で操作可能に

住まいの設備をコントロールする “次世代の暮らし”を実現

パートナー企業12団体*による協議会が推進するまちづくりプロジェクト「TsunashimaSST」。37,000m²を超える広大な敷地で“都市型スマートシティ”の開発が進む。この敷地内唯一の分譲マンションが「プラウド綱島SST」。変容する社会とお客様のニーズを解決する“次世代の暮らし”を提案。多数の試みの一つが、IoTの活用による快適な暮らし。テレビ視聴やインターホン応答、家電の制御をプライベート・ビエラ住宅機器コントローラー(マンションHA連携モデル)に統合。これまでリビングでしか操作できなかった

機能を、濡れた手でも持ち運べるデバイスに集約することで、宅内のどこでも利用でき、外出時にはスマホでも制御が可能になる。また、オール電化マンションにおける新型エコキュートとMEMSの導入により光熱費やCO₂排出量を削減。共用部では10kWの太陽電池モジュールと15kWhの蓄電池を導入して共用部照明への給電を行い、停電時には一部エレベーターを蓄電池で稼働。これら先進の設備に加え、パッシブ設計も含めた環境への取り組みが評価され、国内分譲マンションでは初の、設計段階の審査における「LEED®」ゴールドのプレ認証を取得。『CASBEE横浜』でもSクラスを取得している。

*野村不動産株式会社、パナソニック株式会社、関電不動産開発株式会社、パナホーム株式会社、ユニー株式会社、Apple、JXTGエネルギー株式会社、総合警備保障株式会社、株式会社ドコモ・バイクフェア、株式会社サンオータス、株式会社大林組、慶應義塾大学(順不同) *CG画像提供: 野村不動産株式会社



プラウド綱島SST

所在地 / 神奈川県横浜市港北区綱島東
 施主 / 野村不動産株式会社、関電不動産開発株式会社、パナホーム株式会社
 設計 / 三井住友建設株式会社 一級建築士事務所
 施工 / 三井住友建設株式会社 横浜支店
 内装工事 / パナソニックES建設エンジニアリング株式会社
 構造 / 鉄筋コンクリート造 地上10階
 戸数 / 94戸
 竣工 / 2018年2月(予定)



キッチンの下がり天井をなくし、広々としたLDK



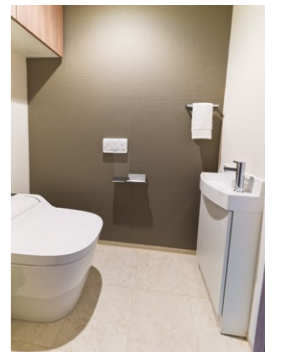
バスタイムを愉しめるように
プライベート・ビエラも置けるニッチを設置



マンションIoTシステム(専用アプリケーション)で、スマホでも来客応答が可能 ※画面は実際と異なります



ドレッサーの隠込スペースでは、ロボット掃除機が自動で充電する

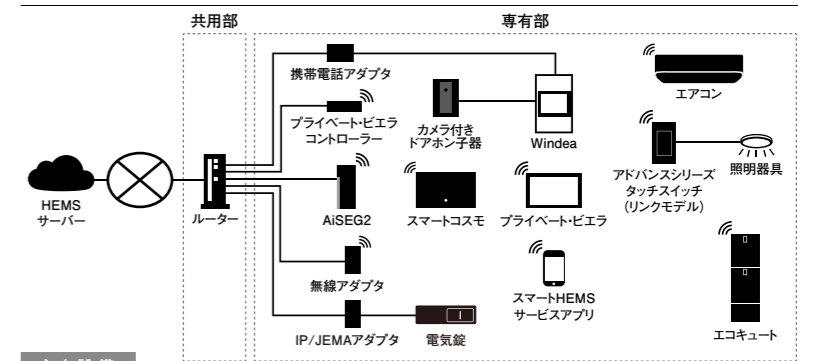


節水性も優れたアラウーノ

プラウド綱島SST

PROUD TSUNASHIMA SST

システム構成図



主な設備

- | | | | |
|---|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 専用部 ● LS-i KITCHEN ● i-X BATHROOM ● i-X DRESSING | <ul style="list-style-type: none"> ● アラウーノ ● エコナビ搭載エアコン ● プライベート・ビエラ ● (マンションHA連携モデル) | <ul style="list-style-type: none"> ● AiSEG2 ● スマートコスモ ● スイッチ ● (アドバンスシリーズ) | <ul style="list-style-type: none"> ● 共用部 ● 太陽電池モジュール ● HIT293W(12kW) ● リチウムイオン蓄電池15kWh |
|---|---|--|--|